

2024 年度 ESD・SDGs オンライン講座 実施要項 (最新版 9/10)

【開催趣旨】

今年の9月には、北陸 ESD 推進コンソーシアムは、設立 10 年の節目を迎えます。また、3 年計画を 2 期継続し、「ESD for 2023」を進める e ラーニング教材開発やオンライン講座開講や交流会・報告会などの開催などを進めてきました。今年度はその 6 年目最終年度の予定でしたが、1 月に発災した R6 能登半島地震の被災地支援とともに、能登半島地震に学ぶ事業を加えて行うことといたしました。つきましては、下記の開催内容のとおりオンライン講座を開催し、防災・減災教育や地域や教育のレジリエンス強化に向けて、R6 能登半島地震から学び、これからは何をつなぐことができるのか、能登半島地震の被災地からの報告を受け、研究者や専門家、と共に阪神淡路大震災、東日本大震災、南海トラフ大地震をつなぎながら、防災・減災教育や気候変動教育、ESD について参加者の皆さんと討論していきたいと思っております。北陸の内外からのたくさんの方の受講をお待ちしております。

【講座内容】

1. 期間及び回数 2024 年 9 月～2025 年 1 月の期間に 6 回程度実施します。
2. 開催方法 オンライン（回ごとに ZOOM の予約情報をお知らせします。）
3. 開催日時 土曜日の 16:00～17:30
4. 主催 北陸 ESD 推進コンソーシアム
後援（予定） 石川県ユネスコ協会 富山ユネスコ協会 ふくいユネスコ
5. 受講対象 ESD・SDGs に関心を寄せる教員、教育関係者、一般の方々
6. 内容（例）
 - ①講師紹介
 - ②能登の被災地の教育現場からの報告（被災地の教育現場関係者）20 分
教育を復旧・継続し復興・発展する道筋や地域と教育のレジリエンスなど
 - ③講義（講師：研究者、専門家を予定）40 分
「R6 能登半島地震に学ぶ実践への期待」「防災・減災教育と ESD」「地域や教育のレジリエンス」などについてお話しいただく予定です。
 - ④質疑応答、意見交換（人数が多い場合はグループ交流）25 分
 - ⑤まとめ（講師によるまとめ）5 分
 - ⑥事務局からのお知らせ

7. 各回の予定（開催日が決まっている場合でも変更の可能性が残ることをご理解ください。）
（9月から1月の期間に6回予定する。）

回	月日	主題	講師	現場報告
1	9/21	R6 能登半島地震に学ぶ —能登の魅力と創造的復興—	国連大学サステナビリティ研究所 OUIK 小山明子 研究員	奥能登：珠洲市教育委員会 太佐真一郎 参事
2	10/05	東日本大震災に学ぶ —地域と教育のレジリエンス—	奈良教育大学 ESD・SDGs センター副センター長 及川幸彦 准教授	奥能登：能登町小木小学校 倉見倫代 校長 加藤政昭 前校長
3	10/19	阪神淡路大震災に学ぶ —地域と教育のレジリエンス—	かがく教育研究所（神戸） 地球科学、防災減災教育 齋本 格 先生	奥能登：輪島市門前西小学校 森田清治 前校長
4	11/9	南海トラフ大地震につなぐ —地域と教育のレジリエンス及びその強化—	三重大学地域圏防災・減災研究センター長 川口 淳 教授	三重県の学校 （報告者調整中）
5	12月未定	ESD（気候変動教育等）につなぐ —防災減災と気候変動、自然災害と人為災害—	研究者及び専門家（ESD・環境教育、防災・減災教育、気候変動教育） （講師調整中）	富山ユネスコ協会 福井温暖化防止センター （報告者調整中）
6	1月未定	ESD（教育のレジリエンス）につなぐ —地域と教育のレジリエンス及びその強化—	研究者及びユース（ESD・SDGs・ユネスコ教育勧告） （講師調整中）	能登 SDGs ラボ JICA 北陸 （報告者調整中）

8. 参加申し込み

- ・ 下記の第1回オンライン講座申し込み ZOOM 登録 URL から申し込みください。
第1回オンライン講座 ZOOM 登録 URL
<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0vc06grTgqEtEB3AwNcvzZ2VNZTZTRva8R>
- ・ 締め切り：各回の直前まで申し込みます。
- ・ 申し込みされた方には、ZOOM の予約情報が送られます。

※第2回目以降の申し込みも、1カ月前にお知らせする回ごとの ZOOM 登録 URL から申し込みください。